

すず屋開業1年半経過

決意から開業までの知られざる苦悩

すず屋整骨院が好調だ。2024年3月の開業後、地元民を惹き付け、今や1時間待ちは当たり前。前職の地位を捨てて笛吹の地に開業するまでの苦悩を独占取材することに成功した。暫しの沈黙のあとに鈴木崇史院長が静かに口を開く。「ギヤラはいくらですか？」



静かに語る鈴木院長
=8月 すず屋整骨院にて

独占取材！院長激白

照れくさそうに鈴木院長は続ける。「笛吹に、ひいては山梨に貢献することをずっと考えていました。地元の方々の仕事の生産性を上げる、というよりプレゼンティズムを下げると言った方が正しいかな。足が痛い、腰が痛い、このプレゼンティズムを無くす。そして100%の状態の仕事をしてもらう。これがすず屋整骨院のコアバリューです。」東京で15年経験して身につけた横文字にもくいほど流暢である。最後に次のステップを聞いてみた。「で、ギヤラはいくらですか？」

心と体を和らげる

毎日すず屋新聞



2025年10月

発行
宣伝課 すずやん

号外

すず屋ブルーが映える外観



山梨県笛吹市御坂町下野原437-1番地
055-269-6189



すず屋整骨院！



山間の盆地で恐ろしく効率的な院内オペレーションを繰り出す。現代のデジタル技術すら凌駕する。



妻の美和氏

院を支えるNo. 2

忙しいさは微塵にも感じさせない。特筆すべきは埼玉で身につけたと言われる「美和スマイル」。「患者さんを一瞬で虜にする。次の方、どうぞー！」今日も声が笛吹に響く。